

2022年3月5日

西三河4種委員会



## AIFA第21回JA全農杯全国小学生選抜サッカー大会2022 in 西三河(U-11) 大会要項

### 1 大会役員

大会委員長	鈴木孝雄
運営委員	水野真史・原 正之・伊藤保・近藤美孝・伊藤 収・斎藤孝泰
	小川祐二・岡田龍治・上田泰則・赤川寿弘・山路甲一・柴田好輝
競技委員長	伊藤 収
審判委員長	斎藤孝泰
規律委員	鈴木孝雄・水野真史・原 正之・斎藤 孝泰・伊藤 収

### 2 日程と会場、参加費

- (1) 予 選: 2022年4月30日(土)、5月1日(日)、7日(土)、8日(日) 参加チーム会場提供グランド  
予選期間中に実施される学校行事の日程を回避したいチームは、会場提供で調整します。  
調整が必要な場合は、備考欄に回避したい日程と理由を必ず記入してください。

(2) 決 勝: 2022年6月4日(土) 会場: 豊田市中央公園芝生広場(予定)

- (3) 予選会場提供受付: 2022年4月2日(土) 24:00まで  
参加チーム数把握の為、参加チームは予選会場提供期間中に会場提供チームの推薦を得て下さい。  
会場提供チーム推薦が得られない参加チームは予選会場提供受付中に委員長へ連絡を下さい。推薦調整します。  
予選会場と日程の決定は、4月4日中に案内します。

- (4) エントリー表受付: 2022年4月4日(月)~10日(日) 24:00まで  
原則、エントリー表の受付は、予選会場提供チーム又は推薦チームとします。

(5) 監督会議: 2022年4月17日(日) 18:15~ 刈谷市産業振興センター604

- (6) 参加費 10,000円/チーム(監督会議にて徴収します)  
(注)「チーム」とは大会エントリー単位を示す、「クラブ」とは複数チームの団体を示す

### 3 県大会出場選考方法 (地区代表4チーム)

- (1) 予選は、5ないし4チームのリーグ戦を2日で行い、上位2チームが代表決定戦に進出する。  
(2) 代表決定戦は、4つのブロックに分かれてトーナメント戦を行い、各ブロックの1位を地区代表とする。  
県大会日程: 監督会議: 5月27日(金) 大会: 6月5日(日)、6月19日(日)

### 4 予選会場提供、エントリー表・個人情報の提出

- (1) 予選会場提供チームは、当要項添付の「会場提供」を記入し、上記受付期日に、  
クラブ代表者より、西三河4種委員長宛にe-mailにて提出する。  
(2) 大会参加チームは、当要項添付の「エントリー表」を記入し、上記受付期間に、  
クラブ代表者より、西三河4種委員長宛にe-mailにて提出する。  
(3) 提出先のメールアドレス  
西三河4種委員長 nifa.jrcm@gmail.com  
(4) エントリー表は、上記受付期日以降の受付、変更は一切受け付けない。  
(5) 同クラブより複数チームが参加する場合は、8名以上の選手をエントリーし、上位からA・Bを  
チーム名の末尾に追加する。又、複数チームで監督・コーチ・審判員の重複エントリー、ベンチ入りは認めない。

### 5 参加資格

- (1) (公財)愛知県サッカー協会に登録の選手で構成する5年生以下3年生以上の選手であること。  
試合の安全性と大会趣旨から、上記の範囲を超える年齢の選手参加は認めない。  
(2) チームエントリーは監督1名、コーチ2名、4級以上の審判員2名がエントリーできる。  
チームエントリー及び試合時に、監督・コーチの中に日本サッカー協会公認D級以上の有資格者1名が必要。  
選手チェック時、チームスタッフの資格証の確認を行う。  
試合時、監督、コーチは、3名までベンチ入りできる。  
監督、コーチ、審判員の当日変更は認める。  
(3) 大会参加者は必ずスポーツ安全保険に加入していること。(加入のない選手は参加できない)  
(4) 試合当日に健康チェックシート・個人を準備し、健康管理一覧表を本部に提出したチームに限る。  
(5) 新型コロナ感染防止から試合14日前からの体温を計測し発熱が無いことが確認できたコーチ、選手  
に限る。

## 6 試合の方法

- (1) 日本サッカー協会「**2021/22競技規則**」「8人制サッカー競技規則」を基本とする。  
試合形式は8人制を採用し一人審判制で試合を行う。  
一部西三河ローカルルールを採用する。
- (2) 試合球は4号球とし各チーム持参する。
- (3) 競技者の用具・ユニフォームは、「別紙 競技者の用具、ユニフォームについて」による。
- (4) WBGT値28°C以上でクーリングブレイクを採用する。
- (5) 試合時間は**20分-5分-20分**の前後半とする。ただし代表決定戦は試合数を鑑み15分-5分-15分の前後半とする。  
※ハーフタイムは5分を超えない
- (6) 予選リーグの順位は、1勝点・2得失点差・3総得点・4相互試合・5コントローラーの順で決定する。  
勝点は(勝:3点、同点:1点、負:0点)とする。  
コントローラーは、第3者が行う。  
代表決定戦では、同点の場合は3名によるPK戦を行う。(4名以降はサドンデス)
- (7) 警告は通算2回で次の試合には出場できない。  
1試合の2枚警告は退場とし、その試合と次の試合は出場できない。  
一発退場のその後の処置については規律委員会にて決定する。  
競技者が退場を命じられた場合は交代要員の中から競技者を補充することができる。
- (8) 各試合30分前にメンバー表・選手証を提示し選手チェックを受ける。
- (9) 試合登録選手は16名とし選手交代は8名で自由な交代を採用する。
- (10) 選手は事前にツメを短くしてチェックを受け、試合中のシャツの裾出しは禁止とする。
- (11) エントリー表の選手登録番号と選手証の番号違いは、その選手の出場を認めない。
- (12) ベンチには監督1名、コーチ2名、控え選手8名のみ入ることができる。
- (13) 組あわせ表・トーナメント表の上段(左側)チームがベンチからピッチを見て左側ベンチを使用する。  
(テントは会場が準備、または会場責任者許可の下使用できる。アンカーフィックスすること)
- (14) テクニカルエリアに立っての、戦術的アドバイスはその都度1名しかできない。
- (15) 当該の試合において、6人に満たない場合は試合を開始できない。  
定刻になっても6人に満たない場合は棄権試合とする。また、負傷・退場により  
6人に満たない時点から、ゲームを進行できず棄権試合とする。

## 7 審判

- (1) 1人審判制(主審1名 補助審1名の2名で実施する)
- (2) 各チームは、1名以上の審判員を帯同する。
- (3) 審判員は、16歳以上の4級以上の有資格者であること。  
審判員は審判証を提示し、胸章(ワッペン)を着用し、無資格、胸章(ワッペン)未着用は認めない。
- (4) 審判員の当日変更は認めるが、審判不在の場合は規律委員会の審議対象となり以後の大会の参加ができなくなることもある。
- (5) 審判員のメガネ、貴金属、装飾品着装不可。笛、腕時計、鉛筆は2個携帯。
- (6) 審判服は2名が同系色(原則黒色)とする。2名の色が同系色で統一されなければその限りで無い。

## 8 大会注意事項

- (1) 競技中の傷害の対応については各チームの責任で行うこと。
- (2) 応援者は会場指定区域内で行い、声を出しての声援を禁止とする。(打音、笛等の鳴り物禁止)
- (3) ベンチマナーや保護者等の対応に関し、大会本部から注意や退席を命じることがある。  
観戦者への注意例
  - ・応援席からの戦術的アドバイスは禁止とする。
  - ・会場内の雨傘、日傘の使用禁止(子供のけが防止)
  - ・喫煙マナー
  - ・応援場所
- (4) 代表決定戦が何らかの理由で開催ができなかった場合は抽選にて代表チームを決定する。
- (5) 参加者、応援者の車両台数は、8台/チームまでとする。  
ダッシュボードにチーム名をA4用紙に記入して提示する。掲示無きは駐車できない。  
駐車場には限りがあります。試合終了後速やかな退場にご協力ください。
- (6) 注意に従わないマナー違反者(指導者、保護者、応援者)のチームは、本部の判断にて、規律委員会にかけられ、処罰されることがある。

## 9 グランド準備・片付け

- (1) 参加チームは、グランド準備と片付けについて、各会場担当の指示に従て下さい。  
(指導者を対象とし、ご父兄はご遠慮ください)
- (2) 代表決定戦については、各コート第2試合までの指導者1名以上/チームでグラウンド準備をしてください。  
**(集合 8:45) ※暫定:会場が決定してから正式決定します**
- (3) 最終試合チームにて片付けをお願いします。

## 10 その他

- (1) 雨天決行。悪天で中止にする場合は連絡します(暴風警報・大雨警報発令時延期とする)  
(中止連絡は当日6時30分までに会場担当から各チームに連絡します。)  
前半終了後半で中止が決定の場合は、その時点の結果を採用とする。  
前半終了前の中止は試合不成立とする。(日程調整または抽選)  
\* 落雷等で中断した場合の再開は、審判・両チーム相談の上、アップ時間を設定し、  
残り時間を実施、後日再試合の場合は再試合場所時間を打合せをして解散
- (2) エントリー表の不正・Web未登録のクラブ・チーム・選手は規律委員会により罰せられる。
- (3) 大会要項に違反したチームは連帯責任を負い、規律委員会の決定に従うことを承諾のうえエントリーをする。

### 《お願い》

登録番号(エントリー表のみ)・背番号・ポジション等の掲載について選手本人と  
保護者の承諾を得てください。

なお、本エントリー表は、大会終了後4種委員会にて責任を持って処分いたします。

### 新型コロナウイルス対策

\* 新型コロナウイルスの感染対策を講じての開催になりますので、下記ご協力ください

1 出入口での検温

2 出入り口での手指消毒

3 会場内でのマスク着用(不織布が望ましい)

4 会場内ではソーシャルディスタンスを確保して観戦(大声での声援は禁止)

1 健康チェックシート(個人)を大会開催日14日前から記入し、当日会場へ持参してください。

(忘れた場合は試合に参加できない。)

2 大会当日チームスタッフは、健康チェックシート(個人)を参考に当日の体温を健康管理一覧表を記入して  
本部へ提出する。

健康チェックシート(個人)はチームで保管してください。

(連続で試合がある場合は、健康チェックシートがダブって来ますのでご注意ください。)

3 健康管理一覧表は原紙を1ヶ月保管します。

4 大会への参加時の乗り合わせ移動に不安がある場合は自己判断で参加を自粛する。

健康チェックシート(個人)での管理が実施されるので、感染者や疑いがある選手・チームスタッフは  
いない前提となります

## 競技者の用具・ユニフォームについて

競技者の用具・ユニフォームについては、下記事項により運用する。

- 1 本競技会の大会要項に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
- 2 ユニフォーム色彩は、フィールドプレイヤー(以下FP)およびゴールキーパー(以下GK)ともに審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
- 3 本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツおよびソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。  
(選手チェック時に持参し本部の確認をうけること。)
- 4 正・副の2色については明確に異なる色とする。
- 5 審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- 6 前項の場合、審判員は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツおよびソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- 7 ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- 8 アンダーシャツ、アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。FPについてはチーム内で同色のものを着用する。GKについては、GKユニフォームの袖と同色のモノの着用も可とする。  
(チーム内でアンダーシャツ着用、未着用の混在も可とする。)
- 9 GKで出場する選手は、GKユニフォームのシャツを必ず着用すること。ショーツおよびソックスについては、FP用・GK用いずれの着用も認める。
- 10 GKの選手番号については、出場選手の登録番号以外でも可とする。  
また、エントリー表に未登録の番号でも可とする。ただし、選手交代時に補助審に氏名および登録番号の確認を受けること。  
(例えば、選手番号「1」のGKユニフォームを他の選手番号の選手が着用して出場しても良い。)
- 11 GKから交代した選手がFPとして出場する場合は、登録した選手番号の付いたユニフォームを着用すること。(GKの選手番号とFPの選手番号が被ることも可とする。)
- 12 FP用シャツの前面・背面には、参加申込の際に登録した選手番号を付けること。
- 13 GK用シャツについては、登録した選手番号または未登録の番号でも可とする。
- 14 選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
- 15 ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。

【※選手番号:通称「背番号」のこと】

# 別紙 クーリングブレイクについて

2016年3月10日

## 熱中症対策ガイドライン

公益財団法人 日本サッカー協会

### 【大会/試合スケジュールの規制(事前の準備)】

大会/試合を開催しようとする期間の各会場(都市)における、過去5年間の時間毎のWBGTの平均値を算出し、その数値によって大会/試合スケジュールを設定する。必要に応じて、試合時間を調整して早朝や夜間に試合を行う、ピッチ数を増やす、大会期間を長くするなどの対策を講じる。

※過去のWBGT値は環境省『熱中症予防情報サイト([http://www.wbgt.env.go.jp/record\\_data.php](http://www.wbgt.env.go.jp/record_data.php))』からダウンロードできる。

- WBGT=31°C以上となる時刻に、試合を始めない。(キックオフ時刻を設定しない。)
- WBGT=31°C以上となる時刻が試合時間に含まれる場合は、事前に『JFA 熱中症対策※1<A>+<B>』を講じた上で、試合日の前日と翌日に試合を行わないスケジュールを組む。
- WBGT=28°C以上となる時刻が試合時間に含まれる場合は、事前に『JFA 熱中症対策※1<A>』を講じる。
  - ▽クーラーが無い体育館等の屋内で試合を行う場合も、上記と同じ基準で対策を講じる。
  - ▽屋根の無い人工芝ピッチで試合を行う場合は、天然芝等に比べてWBGT値の上昇が見込まれるため、上記の値から-3°Cした値を基準とする。
    - WBGT=28°C以上となる時刻は、屋根の無い人工芝ピッチは原則として使用しないとする『JFA 熱中症対策※1<A>+<B>』を講じなければならないため、使用不可とする。
    - WBGT=25°C以上となる時刻が試合時間に含まれる場合は事前に『JFA 熱中症対策※1<A>』を講じる。

### 『JFA 熱中症対策※1』

#### <A>

- ① ベンチを含む十分なスペースにテント等を設置し、日射を遮る。
  - ※全選手/スタッフが同時に入り、かつ氷や飲料等を置けるスペース。
  - ※スタジアム等に備え付けの屋根が透明のベンチは、日射を遮れず風通しも悪いため使用不可。
- ② ベンチ内でスポーツドリンクが飲める環境を整える。
  - ※天然芝等の上でも、養生やバケツの設置等の対策を講じてスタジアム管理者の了解を得る。
- ③ 各会場にWBGT計を備える。
- ④ 審判員や運営スタッフ用、緊急対応用に、水・スポーツドリンク・経口補水液を十分に準備する。
- ⑤ 観戦者のために、飲料を購入できる環境(売店や自販機)を整える。
- ⑥ 熱中症対応が可能な救急病院を準備する。特に夜間は宿直医による対応の可否を確認する。
- ⑦ [Cooling Break※2]または飲水タイムの準備をする。

#### <B>

- ⑧ 屋根の無い人工芝ピッチは原則として使用しない。
- ⑨ 会場に医師、看護師、BLS(一次救命処置)資格保持者のいずれかを常駐させる。
- ⑩ クーラーがあるロッカールーム、医务室が設備された施設で試合を行う。

## 【大会/試合実施時の規制(当日の対応)】

各会場にWBGT計を準備し、計測した数値により対策を講じる。

〔計測方法〕①必ずピッチ上で、WBGT 計の黒球が日影にならないように計測する。計測時の WBGT 計の高さは、プレーする選手の年齢の平均身長の 2/3 とする。

(例.中3男子の場合、168.8cm×2/3=113cm)

②計測する時間はできる限り試合開始の直前、かつロッカーアウトするまでに両チームに 対応方法を伝達できるタイミングとする。

③試合中もピッチに近い場所で計測し続け、数値を把握する。

④ハーフタイム時(できる限り後半開始の直前)の数値により後半の対応方法を決定し、両 チームに伝達する。

※原則として、前後半のプレー中に数値が変わっても対応方法の変更はしない。

### ■ WBGT=31°C以上の場合

やむを得ず行う場合は『JFA 熱中症対策<sup>※1</sup>〈A+B〉』を講じた上で、[Cooling Break<sup>※2</sup>]を行う。

※中止や延期の判断は、試合前またはハーフタイム時に行うこととし、前後半のプレー中に試合を中止・ 延期はしない。試合前は大会の主催者または主管者、もしくはその代行者が必要に応じて主審と協議 の上で判断し、ハーフタイム時は主審が大会の主催者または主管者、もしくはその代行者と協議の上 で判断する。

※大会主催者は、中止や延期となった場合の対策や当該試合の取扱いについて予め規定しておくこと。

### ■ WBGT=28°C以上の場合

1・2種…[Cooling Break<sup>※2</sup>] または[飲水タイム]を行う。

3・4種…[Cooling Break<sup>※2</sup>]を行う。

また、『JFA 熱中症対策<sup>※1</sup>〈A+B〉』を講じた場合は、全ての種別において[Cooling Break<sup>※2</sup>] または[飲水タイ ム]を推奨することとする。

### ■ WBGT=25°C以上の場合

3種…[飲水タイム]を行う。

4種…[Cooling Break<sup>※2</sup>] または[飲水タイム]を行う。

△体育館等の屋内でフットサル等の試合を行う場合も、上記と同じガイドラインを適用する。ただし、同じ WBGT 値 でも屋外に比べて熱射・輻射が少ないが高温度傾向にあるので、除温機の設置や風通しを良くするなどの対 策を講じる必要がある。また、建物自体に熱がこもるため日没後も WBGT 値が下がりにくい傾向があることにも 注意すること。

△フットサルやビーチサッカー、8人制サッカーのような「自由な交代」が可能な試合についても、ガイドラインに沿 って[Cooling Break]や[飲水タイム]を設定する。

### [Cooling Break<sup>\*2</sup>]

前後半 1 回ずつ、それぞれの半分の時間が経過した頃に 3 分間の[Cooling Break]を設定し、選手と審判員は以下の行動をとる。

- ① 日影にあるベンチに入り、休む。
- ② 水・アイスパック等でカラダ(頸部・脇下・鼠径部)を冷やし、必要に応じて着替えをする。
- ③ 水だけでなくスポーツドリンク等を飲む。

#### 〈留意点〉

- ・原則として試合の流れの中で両チームに有利・不利が生じないようなアウトオブプレーの時に、主審が判断して設定する。
- ・戦術的な指示も許容する。
- ・チームが、カラダを冷やすための器具を持ち込む際は、事前に大会運営責任者の了解を得る。
- ・審判員は[Cooling Break]の時間を遵守するため、試合再開時には選手に速やかにポジションに戻るように促すと同時に、出場選手の確認を行う。
- ・サブメンバーは出場メンバーとの識別のため必ずビブスを着用する。運営担当者は試合再開時に出場メンバーの確認について審判員をサポートする。
- ・[Cooling Break]に要した時間は「その他の理由」によって費やされた時間として前後半それぞれの時間に追加される。
- ・[Cooling Break]を設定する場合は試合前またはハーフタイム時のロッカーアウトまでに両チームに伝達する。また、WBGT 値に応じて、前半と後半の対応が異なる場合がある。

#### (参考... 飲水タイム)

- ・前後半それぞれの半分の時間を経過した頃、試合の流れの中で両チームに有利、不利が生じないようなボールがアウトオブプレーの時に、主審が選手に指示を出して全員に飲水をさせる。もっとも良いのは中盤でのスローインの時であるが、負傷者のための担架を入れた時や、ゴールキックの時も可能である。
- ・選手はあらかじめラインの外に置かれているボトルをとるか、それぞれのチームベンチの前でベンチのチーム関係者から容器を受け取って、ライン上で飲水する。
- ・主審、副審もこの時に飲水して良い。そのために第4の審判員席と、第2副審用として反対側のタッチライン沿いにボトルを用意する必要がある。
- ・スポーツドリンク等、水以外の飲料の補給については、飲料がこぼれて、その含有物によっては競技場の施設を汚したり、芝生を傷めたりする恐れもある。大会主催者が水以外の持ち込み可否及び摂取可能エリアについて、使用会場に確認をとって運用を決定するので、その指示に従って、飲水する。
- ・飲水タイムは30秒から1分間程度とし、主審は選手にポジションにつくよう指示してなるべく早く試合を再開する。飲水に要した時間は、「その他の理由」により空費された時間として、前、後半それぞれに時間を追加する。
- ・時間の経過にともなって環境条件がかなり変わった場合は、飲水を実施するかしないかの判断をハーフタイムに変更してよい。
- ・飲水を行う場合は、試合前(あるいはハーフタイム時)に両チームにその旨を知らせる。
- ・飲水タイムは、あくまでも飲水のためである。
- ・飲水タイムとは別に、従来どおり、ボールがアウトオブプレーのときにライン上で飲水できる。

以上